

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	交通バリアフリー促進事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等	バリアフリー新法		
対象・受益者	市民	事業期間	平成17年度 ~
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
公共交通機関を利用した移動の利便性・安全性が向上し、誰もが自立した日常生活を送っています。		電車やバス等を利用した移動の利便性や安全性の向上を図るため、交通バリアフリー基本構想に基づき整備を行う公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等へ促進を働き掛けます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市交通バリアフリー特定事業等推進協議会の開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績	1	1	1		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績					
成果指標①	指標名	特定事業達成度			単位	%
	説明・算定式	平塚市バリアフリー基本構想の見直し(平成23年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績		15	50		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
国の新たな基本方針が平成22年度末に示されたことから、平成24年度においては基本構想見直しを開始し、目標年次・基本方針・重点整備地区の見直しの検討を行いました。また、平成22年度を目標とした特定事業の完了していない箇所を対象としバリアフリー化事業の早期実現を図るため、各事業者や市民が参加する平塚市交通バリアフリー特定事業等推進協議会を開催し、事業の進行管理及び調整を行いました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	駅構内や駅を中心とした周辺道路等に対してバリアフリーを望む声は多く、各事業者が連携し重点的かつ一体的に推進するよう調整をする必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	各事業者と調整したうえで整備を進める事で、交通バリアフリー基本構想の具現化につながる有効な事業です。また、市民の視線に立った移動等円滑化施策のため有効性があります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	交通事業者、道路管理者及び公安委員会のそれぞれの事業の協議・調整を行い、バリアフリー基本構想の進行管理を行うことは、基本構想の効率的な推進につながるため妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民や関係する事業者等の意見や提案により、本市が策定したバリアフリー基本構想を各事業者間と調整し効率よく進めています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 バリアフリー新法に基づき策定された平塚市バリアフリー基本構想を着実に推進していく必要があります。また、交通以外のバリアフリー化も推進していくため、建築物特定事業や都市公園特定事業等幅広い調整が必要になります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		推進協議会の開催	推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直しの検討	推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直し	推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直し
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	84
事業費 (A)		0	0	0	84
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	0.20	0.32	0.70	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		1,652	2,594	5,611	6,359
フルコスト (A+B)		1,652	2,594	5,611	6,443

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 平塚市バリアフリー基本構想のもとでバリアフリー化を推進するため、交通事業者、施設設置管理者、公安委員会、市民等を含めた関係団体と平塚市バリアフリー特定事業等推進協議会を開催し、協議・調整を進めていきます。
課長コメント バリアフリー新法により見直しを行った平塚市バリアフリー基本構想に基づき、交通事業者、施設設置管理者、公安委員会等、関係管理団体との協議・調整を行い、バリアフリー化を推進していく必要があると考えます。